

三人柏

山口国体 アーチェリー出場

二年 松下 文香

私は国体予選でメンバーに選ばれ、山口県で開催される国体にアーチェリーの選手で出場することができました。

国体は普段の試合とは違い、成年も同時に戦いました。本番は風が強く普段練習している点数が出せなかったです。しかし、上位の人たちは風があっても無くても点数が高く、天候が悪くても安定していました。私も、天候に左右されない射ちかたがしたいし、試合で直していかないといけないところがわかりました。国体を通じて新たに自分への課題を見つけたので、普段の部活動で改善していきます、次にある試合に生かしていきたいと思いました。

山口国体を通じて、他校の人と普段組むことができない団体が組めて、すごく楽しかったです。

来年も国体に出場し、全国のレベルに通用するような実力にしたいです。



保護者 松下 有理

高校に入学しアーチェリーというスポーツに出会いました。最初は、やった事もないのに続くのかなと思っていましたが、やってみると楽しかった様で、毎日部活をして帰って来ます。

今までの数々の試合で好成績を取り今年の国体選手に選ばれました。そして、国体選手として出場する事が出来ました。

選手に選ばれたのは、もちろん本人の努力もありますが周りの先生先輩の協力があったからこそだと思います。本当に感謝しています。試合結果は、本人としては納得していなかった様です。また来年、チャンスがあれば今年以上に

応援体験記

保護者 牧 朝子

頑張ってるほしいです。今後、まだまだ試合があります。体が調いに気を付け部活も、もちろんですが、勉強も頑張ってるって聞いてもらいたいです。

私達親も陰ながら、しっかりと応援してやっていこうと思います。

東北大震災の影響で開催を心配していましたが、八月に全国高等学校総合体育大会が開かれました。

陸上競技の会場は、岩手県北上総合運動公園でした。息子が出る八種競技とは、一〇〇m、走幅跳び、四〇〇m、砲丸投、一五〇m H、やり投、高跳び、一五〇〇mを二日間こなします。初日は観戦に行けなかったので電話で報告を受けた時はホッとしました。競技の性質上やはり怪我が一番心配でした。

二日目は、スタンドで応援です。最後の一五〇〇m前に少し話



をする事ができました。インターハイのレベルの高さにちょっと引ききみで不安な様子でした。最後だから後悔しないレースにしておいでと送り出しました。

息子の結果は二〇位でしたが、全ての競技が終わり、参加者全員で手を繋いでスタンドに向かって挨拶した時は、とても感動をしました。息子もこの時に、陸上を続けてきた達成感と喜び、そして新しい目標も同時に見つけたようで、少し成長した様にも感じました。

陸上部とスキー部掛け持ちという特殊な生徒を、ここまで導いて頂いた北高の諸先生方、生活を支えて頂いた下宿先の皆様、部活動や学校の仲間の皆様、本当に有難うございます。